

令和4年度 事業報告

令和6年度からスタートする第8次医療計画に向けて、厚生労働省は本年3月に都道府県が地域保健医療計画を策定する際の拠り所となる基本方針及び作成指針を通知した。薬剤師・薬局に関わる新たなものとしては、薬剤師確保における業態偏在や地域偏在の解消、大規模災害発生時において医薬品や支援薬剤師活動の総合調整を担う災害薬事コーディネーターの養成・設置、在宅医療における医薬品・医療機器・衛生材料の提供体制構築や薬物療法等に関する情報の多職種での共有・連携、24時間対応体制、ターミナルケアへの関与等、これからの薬剤師・薬局に求められる様々な役割が盛り込まれた。本会としては、今後取りまとめられる新潟県の地域保健医療計画の策定にあたって、薬剤師会の意見を確実に反映できるよう積極的に関わる必要がある。

新型コロナウイルスの感染拡大が始まって3年以上が経過し、感染症法上の位置づけが5類感染症へと移行するなど、社会経済活動の維持に重点を置いた政策に移りつつある。本会では、薬局での抗原検査キットの販売や宿泊療養患者・自宅療養患者への医薬品供給にあたり、会員へ協力を求めることによって薬局が医療提供施設としての責務を果たすことができるよう努めた。これにより、自治体や関係機関から薬局・薬剤師に対する高い評価を得ることができた。

急速に進む医療ICT化への対応としては、令和3年10月に本格運用がスタートしたオンライン資格確認に続き、本年1月からスタートした電子処方箋への対応が急がれた。この運用に不可欠な薬剤師資格証（HPKIカード）の発行については、日本薬剤師会及び地域薬剤師会と協力して会員のみならず全薬局・薬剤師に積極的に情報発信を行い、HPKIカードの普及に遅れが出ないように努めた。また、オンライン服薬指導等の実施に向けた対応についても情報発信を行った。このように医療ICTの活用が進むことで薬剤師業務の質的向上や医療安全の向上等への寄与が期待されることから、今後も引き続き取り組むこととしている。

安定ヨウ素剤の薬局配布については、新潟県での配布対象地域がPAZからUPZへ拡大され、さらに広範囲で多くの住民を対象とした薬局配布が本格化する。全国に先駆けた事例となることから、薬局配布事業に係る新潟県との受託契約の締結にあたっては、薬剤師会の意見を盛り込むことができるよう県当局と協議を重ねるとともに、対象地域の薬局への情報提供と協力薬局の募集に協力した。

本年10月には6年振りに新潟市で北陸信越薬剤師大会及び同学術大会が開催される。本会は、昨年7月に実行委員会を設置して大会の運営について協議を本格化させた。既に決定している令和8年の日本薬剤師会学術大会の新潟開催も見据え、会員への学術発表の機会を提供するとともに、充実した価値ある大会にできるよう準備を進めている。

このように、薬局・薬剤師を取り巻く環境が急速かつ大きく変化している中、間近に迫った「地域包括ケアシステム」の構築に向けて薬局が調剤のみならず、健康相談、すべての医薬品提供等の機能を果たし、かかりつけ薬局・薬剤師としての充実が求められる「患者のための薬局ビジョン」を確実に実現するため、以下のとおり、令和4年度の事業を実施したので報告する。

1 組織強化対策

(1) 会員増強対策の推進(継続)

組織強化の基盤である会員の増加を図るため、研修会や青年部活動等の機会を捉えて主にB会員(管理薬剤師以外の薬剤師)の加入促進に努めた。

(2) 地域薬剤師会事務局の支援(継続)

地域薬剤師会事務局体制に応じた支援策を講じて、地域薬剤師会活動の充実・強化に努めた。

(3) 青年部の活動の活性化(継続)

① 青年部員の交流等を図るため定例集会(ハイブリッド型)を開催して、活動報告等を部員へ周知した。

② 充実した服薬指導を行うための知識を深めることを目的にオンライン研修会を開催した。

テーマ 服薬指導に活かせるストレッチ

講師 薬剤師 西田悦子 氏

③ 若手薬剤師に対する県薬事業への理解促進及び組織強化を目的として、初めて「次世代ユニゾン」を開催した。

講師 新潟県薬剤師会 会長 荻野構一 氏

④ 各地域における薬物乱用防止普及啓発活動等のイベントへの部員の参画を図るため、各地域へ青年部員名簿を送付した。

⑤ 交流イベント等を開催して、部員、会員の親睦を図った。

⑥ 活動内容を青年部員に広報するため、青年部メールマガジンを随時配信するとともに、県薬ホームページにメールマガジンを掲載して広報した。また、青年部Facebookに活動内容等を投稿し、青年部の対外的な広報を行った。

(4) 医療ICT化への対応(拡充)

① 日薬が行う薬剤師資格証(HPKIカード)の発行事業において、地域薬剤師会と連携して申請の受付業務に協力するとともに、オンライン資格確認システムの導入に関する情報提供を行った。

② 電子処方箋応需体制に関する情報提供を行うとともに、応需整備状況に関する調査を実施した。

③ 日本薬剤師会研修プラットフォームを試行的に導入し、活用を呼び掛けた。

(5) 事務局機能の強化(拡充)

① 複雑・多様化する業務に対応するため事務局を総務課と業務課の二課体制とし、委員会活動支援の強化等を図った。

② 人材育成のため職員研修の充実を図った。

2 災害及び感染症対策

(1) 災害対策にかかる整備及び啓発(継続)

- ① 平時の防災対策、災害時の対応、災害医療の制度等について、新潟県病院薬剤師会及び新潟大学医学部災害医療教育センターと共催して、新潟県災害薬事研修会(Web研修)を開催した。
 - 講演1 新潟県の災害医療体制―薬事対応を含めて―
 - 講師 新潟県福祉保健部地域医療政策課 羽入晋太郎 氏
 - 講演2 大規模水害等における災害薬事対応 一県北豪雨の事例を含めて―
 - 講師 新潟大学医学部災害医療教育センター 和泉邦彦 氏
- ② 本会と地域薬剤師会が連携して活動できるよう「地域薬剤師会災害対策担当者会議」を開催して、防災対策及び災害時の対応等について情報交換・収集を行った。
- ③ 本会及び本会が地域薬剤師会に貸与している災害時優先電話(携帯電話5台)の機種更新を行った。
- ④ 災害時に必要と思われる備蓄品等を追加購入した。

(2) 行政等との連携協力体制の整備(拡充)

- ① 新潟県三師会連絡協議会、新型コロナウイルス感染症対策協議会、新潟県救急搬送・受入協議会等に参画して、情報収集に努めた。
- ② 薬局における安定ヨウ素剤の事前配布が柏崎刈羽原子力発電所のPAZからUPZに拡大されたことに伴い、新潟県との委託契約等について協議するとともに、関係する地域薬剤師会への情報提供を行った。

(3) 新型コロナウイルス感染症への対応(拡充)

- ① 自宅療養者等への医薬品配送に協力する薬局のリストを作成・公表し、新潟県医療調整本部や医療機関等への周知に努めた。また、新潟県と連携し、新型コロナ経口治療薬の対応薬局を調整した。
- ② 厚生労働省が行う「薬局における薬剤交付支援事業」を受託して、薬局を支援した。
- ③ 県民が抗原検査キットを容易に入手できるよう、抗原検査キットを取扱う県内の薬局・店舗販売業のリストを作成して公開した。
- ④ 年末年始を含めた休日・時間外における販売体制を確保するため、地域薬剤師会担当者との打合せ会議を開催した。

3 未就業薬剤師の就業促進

(1) 薬剤師無料職業紹介所(継続)

- ① 県薬ホームページ等を通じて「薬剤師バンク」の広報を行い、未就業薬剤師の就労促進・斡旋を行った。
- ② 薬剤師無料職業紹介所の継続について役員会等で協議し、令和4年度末をもって廃止することを決定した。

4 試験検査の実施

(1) 委託検査等の実施(継続)

試験検査委託契約を結ぶ施設を対象とした医療用医薬品や一般用医薬品、薬局製剤の計

画的試験検査を実施した。

(2) 依頼検査等の実施(継続)

薬局等からの医薬品検査等の依頼に応じて試験検査を実施した。

(3) 研修会等への参加(継続)

① 日薬の「試験検査センター連絡協議会・技術研修会」に参加した。

② 日薬の「医薬品試験検査に係る精度管理試験」及び厚生労働省の「登録試験検査機関間比較による技能試験」に参加した。

(4) 試薬の販売(継続)

学校給食衛生管理定期検査で使用する食器の残留物検査用試薬を調製し、学校及び学校薬剤師等へ販売した。

5 医療・介護保険制度への対応

(1) 保険薬局研修会の開催(継続)

保険薬局の質的向上を目的として、保険薬局を対象に研修会を開催した(ハイブリッド型研修)。

講演 患者本位の医薬分業をめざして

講師 新潟県薬剤師会 常務理事 大黒幸恵 氏

講演 適正な保険調剤のために

講師 新潟県薬剤師会 常務理事 山口喜規 氏

講演 令和4年度調剤報酬改定と薬剤師へのメッセージ

講師 内閣府食品安全委員会事務局 評価第一課長 紀平哲也 氏

(2) 集団指導、個別指導への立会い(継続)

関東信越厚生局及び新潟県との保険薬局指導に立会い、当該指導の円滑な実施と薬局の適正な保険請求事務の推進に努めた。また、関東信越厚生局新潟事務所と保険薬局指導計画に係る打合せ会を開催し、意見交換等を行った。

(3) 「保険薬局だより」の作成(継続)

保険調剤に関する通知等の情報について、会誌「ジャニファ」等に掲載して会員へ周知した。

(4) 10都県薬剤師会社会保険担当者連絡協議会への参加(継続)

関東信越厚生局管内の各都県における調剤報酬請求に関する審査の状況等について意見交換を行った。

(5) 社保・国保・新潟県薬剤師会による調剤報酬審査に係る情報交換会の開催(継続)

適正な保険請求を推進するため、社保・国保のレセプト審査委員及び本会担当役員で情報交換を行って両審査会間の整合を図り、審査情報等を会員へ「保険薬局だより」等にて周知し

た。

6 薬局のかかりつけ機能の強化推進

(1) すべての薬局が「かかりつけ薬局」としての基本的機能を備えるための働きかけ(継続)

- ① 県内の薬局におけるかかりつけ機能の定着度を把握するため、「薬局におけるかかりつけ機能に関する実態調査」を実施した。
- ② 「薬と健康の週間」に併せ、会員が勤務する保険薬局に対し服薬フォローアップの実施強化を呼びかけるとともに、啓発資材を送付した。
- ③ 緊急避妊薬の調剤を応需できる薬局を確保するため、厚生労働省が作成したDVD教材を活用し、「オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会」を開催した(Web研修)。
- ④ 県薬ホームページで「処方箋応需薬局」を紹介するとともに、輪番制による休日保険薬局当番を周知した。

(2) 妊娠・授乳中の薬剤に関する研修実施と相談対応薬局の公表(新規)

日本薬剤師会が実施する「令和4年度『薬局ビジョン実現に向けた薬剤師のかかりつけ機能強化事業【第2期】』」に係るモデル事業として、以下の事業を実施した。

- ① 薬局における体制等の現状把握及び県民の健康相談に関する実態把握のため、調査を実施した。
- ② 妊娠・授乳と薬の基礎研修として、「すべての薬剤師に知ってほしい『妊娠・授乳と薬』研修会」を開催した(ハイブリッド型研修)。
講演 薬剤と妊娠・母乳 ―メリットとデメリット―
講師 新潟市民病院 産婦人科 田村正毅 氏
講演 「妊娠・授乳と薬」の悩みに対して支援のできる薬剤師になるために
講師 国立成育医療研究センター 妊娠と薬情報センター 八鍬奈穂 氏
- ③ 妊娠・授乳と薬の相談対応スキル向上を目指し、「『妊娠・授乳と薬』相談対応 実践研修会」を開催した(Web研修)。
講演 妊婦・授乳婦に対する薬カウンセリングの方法 ―薬効別の相談事例も含めて―
講師 国立成育医療研究センター 妊娠と薬情報センター 三浦寄子 氏
グループワーク 相談対応の実践
進行 新潟県薬剤師会 常務理事 大黒幸恵 氏
講師 国立成育医療研究センター 妊娠と薬情報センター 八鍬奈穂 氏
- ④ 「妊娠と授乳のくすり相談」対応薬局を県薬ホームページで公開し、関係機関への周知等を行った。

(3) 健康サポート薬局、地域連携薬局等の確保に向けた支援(継続)

「健康サポート薬局」や「地域連携薬局」等、薬局薬剤師の資質を担保するため、「健康サポートのための多職種連携研修会(研修会A)」を開催した(ハイブリッド型研修及びWeb研修)。

第1部 健康サポート薬局の基本理念

- 講演 健康サポート薬局の基本理念(DVD講義)
講師 日本薬剤師会 会長 山本信夫 氏

- 日本薬剤師会 副会長 田尻泰典 氏
- 講演 健康サポート薬局の理念：地域包括ケアシステムに対応した薬局・薬剤師「新潟県における健康サポート薬局の姿」
- 講師 新潟県薬剤師会 副会長 笠原敦子 氏
新潟県薬剤師会医薬分業・在宅医療委員会 本部委員 田中友康 氏
- グループ討議 薬局が地域の資源とどのように繋がるか
- 進行 新潟県薬剤師会 医薬分業・在宅医療委員会 本部委員 田中友康 氏
新潟県薬剤師会 理事 長澤貴明 氏
- 第2部 当該地域の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源と健康サポート薬局の連携
- 講演 「健康立県」の実現を目指して ―新潟県の健康施策について―
- 講師 新潟県福祉保健部健康づくり支援課 健康立県推進班 小島美世 氏
- 講演 依存症の支援について
- 講師 新潟市こころの健康センター 小林義人 氏
- 講演 民生委員・児童委員として取り組んでいること
- 講師 新潟県民生委員児童委員協議会 会長 本多満理子 氏
- 講演 新潟県における医療・保健・健康・介護・福祉等の資源について
- 講師 新潟県薬剤師会 副会長 笠原敦子 氏
- 第3部 地域包括ケアシステムの中で健康サポート薬局としての役割を發揮するための各職種・機関との連携による対応等に関する演習
- グループ討議 ケーススタディ
- 進行 新潟県薬剤師会 医薬分業・在宅医療委員会 本部委員 田中友康 氏
新潟県薬剤師会 理事 長澤貴明 氏
- 第4部 私たちの目指す健康サポート薬局の姿
- グループ討議 健康サポート薬局として今私たちに何ができるか
- 進行 新潟県薬剤師会 医薬分業・在宅医療委員会 本部委員 田中友康 氏
新潟県薬剤師会 理事 長澤貴明 氏

(4) 医療安全体制の整備及び法令遵守の推進(継続)

- ① 医療安全をテーマとした「リスクマネジメント研修会」を新潟県病院薬剤師会との共催で開催した(ハイブリッド型研修)。

話題提供 新型コロナウイルス感染症患者への調剤・薬剤配送について

演者 新潟県病院薬剤師会 常任理事 宮川哲也 氏
新潟県薬剤師会 理事 吉田智彰 氏

特別講演 RMPの目的と活用状況

講師 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 安全性情報・企画管理部
リスクコミュニケーション推進課 杉山祥子 氏

事例紹介 RMPを使ってみよう

演者 新潟県薬剤師会 常務理事 宮川哲也 氏

- ② 日薬に共催し、医療機器販売業等の営業所管理者を対象とした「高度管理医療機器販売等に係る継続研修会」を開催した(ハイブリッド型研修)。

講演 医薬品医療機器等法その他薬事に関する法令
講師 新潟県福祉保健部感染症対策・薬務課 荻野寛子 氏
講演 医療機器の品質管理、不具合報告及び回収報告、情報提供
講師 新潟県薬剤師会 理事 清水真由子 氏

③ 日薬が行うDEM事業に協力し、会員の勤務する保険薬局の参加を呼び掛けた。

(5) 地域薬学ケア専門薬剤師制度への対応(継続)

基幹施設と連携施設との円滑な調整に向け、行政への働きかけを行った。

7 在宅医療・介護対策

(1) 訪問業務等の実施体制支援と資質向上(拡充)

① 継続的な服薬フォローアップの実施と薬学的アセスメントへのバイタルサインの活用を目指し「服薬フォローアップと薬効モニタリングのためのバイタルサイン研修会」を開催した(集合研修)。

講演 薬剤師による適切な薬物療法の提供について

実技 バイタルサインの手技の確認

グループワーク 薬学的管理指導のために必要な患者情報の理解

演習・グループワーク 患者宅での情報収集と薬学的アセスメントへの活用

講師 新潟県薬剤師会 理事 吉田智彰 氏

② 薬剤師のための認知症対応力向上研修会を新潟県と連携して開催した(Web研修)。

講演 かかりつけ薬剤師の役割

講師 新潟県薬剤師会 研修担当講師 本間雅克 氏

講演 これだけは知っておいていただきたい認知症の基本

講師 有田病院 認知症疾患医療センター 有田正知 氏

講演 薬局業務における実践

講師 新潟県薬剤師会 理事 吉田智彰 氏

講演 地域・生活における実践

講師 新潟県福祉保健部高齢福祉保健課 在宅福祉班 山田知佳 氏

③ 薬学的アセスメントへのガイドラインの活用及び処方提案、多職種連携及び情報共有を目指し「在宅患者アセスメントと多職種への提案のための研修会」を開催した(サテライト集合研修)。

第1部 薬剤師に求められる行動モデル

第2部 症例検討 一薬剤管理の症例検討と多職種連携のスキルの習得—

講師 新潟県薬剤師会 研修担当講師 木村なな子 氏

新潟県薬剤師会 理事 吉田智彰 氏

④ 病院薬剤師と薬局薬剤師による「『薬薬連携』推進のための研修会」を開催した(ハイブリッド型研修)。

特別講演 入退院支援を目指した病診薬連携

講師 大阪府済生会中津病院 薬剤部長 萱野勇一郎 氏

事例発表 病院薬剤師から見た薬局薬剤師との連携

演 者 濟生会新潟病院 薬剤部 上村賢介 氏
事例発表 薬局薬剤師から見た病院薬剤師との連携
演 者 ココカラファイン薬局寺地店 山口元気 氏

⑤ 在宅医療に関わる多職種の業務理解のための寄稿を会誌「ジャーナル」に掲載した。

(2) 安定的な在宅療養提供のための多職種等との連携促進(拡充)

- ① 薬剤師による訪問業務に関する現状把握等のため多職種(医師、訪問看護師、ケアマネジャー、地域連携室担当者)を対象とした実態調査を実施した。
- ② 地域包括ケアシステムにおける薬剤師の役割や薬局業務に関する課題を把握するため「地域・在宅医療における医薬品提供体制に関する検討会議」を開催した。
- ③ 薬剤師の訪問業務等に関する調査研究を計画、説明会を開催した。

(3) 在宅医療に関わる薬局の体制強化(継続)

- ① 薬局の無菌調剤体制の整備促進のため、「無菌調剤に係る基礎研修会」を開催した(Web研修)。
講 演 薬局における無菌調剤の必要性と無菌調剤に係る手続き
講 師 新潟県薬剤師会 常務理事 五十嵐央 氏
講 演 無菌調剤に関わる消毒と調剤手技
講 師 新潟県薬剤師会在宅医療委員会 本部委員 竹野敏彦 氏
講 演 在宅医療における栄養・輸液製剤について
講 師 新潟県薬剤師会 常務理事 宮川哲也 氏
- ② 必要な知識・技術の習得により無菌調剤室の共同利用の推進を目指し、「無菌調剤室における実技研修」を開催した。
- ③ 薬局における無菌調剤等の体制整備促進に向け、地域薬剤師会担当者会議等を開催した。
- ④ 地域における在宅医療及び多職種の状況を把握するため、在宅医療に係る地域薬剤師会担当者会議を開催した。

(4) 介護・介護予防等の地域活動の推進、支援(継続)

- ① 介護予防のための地域ケア個別会議へ助言者を派遣し、新任助言者に対する支援を行った。
- ② 助言者の知識・技能の向上を図るため、新潟県地域包括ケア支援専門職協議会の研修会開催、県版手引き改訂作業等に参画した。

8 薬剤師養成のための薬学教育への対応

(1) 実務実習受入体制の整備と指導薬剤師の資質向上(継続)

- ① 認定実務実習指導薬剤師資格更新への対応等も含めた実務実習生受入薬局への支援を強化し、受入体制の整備を図った。
- ② 実務実習指導薬剤師研修会を開催した(Web研修)。
講 演 令和4年度実務実習報告 一現状の問題点や学生の意見を踏まえて一
講 師 新潟薬科大学薬学部臨床薬学教育研究センター 教授 坂爪重明 氏

講演 「実習生と薬剤師が満足感を実感するための実習を考えるWS」の開催報告

講師 新潟県薬剤師会 常務理事 五十嵐央 氏

新潟県病院薬剤師会 常務理事 山本剛 氏

事例紹介 実習生と楽しむ一工夫

演者 石川調剤薬局 五十嵐丈二 氏

事例紹介 新潟南病院における実務実習の取り組みについて

演者 新潟南病院 渡部学 氏

特別講演 実務実習指導薬剤師に求められる実務実習と令和4年度改訂コアカリキュラム

講師 帝京大学薬学部 名誉教授 小佐野博史 氏

- ③ 指導薬剤師等を対象に「実習生と薬剤師が満足感を実感するための実習を考えるワークショップ」を開催した。

グループディスカッション 学生と指導薬剤師、両者の実務実習の満足度を上げるために必要なこととは

グループディスカッション 薬業連携のための真の薬剤師職能を学生に見せるためにどうしたらよいか

9 医薬品販売制度への対応

- (1) セルフメディケーション推進のための一般用医薬品等の活用等に関する啓発活動(継続)
健康サポートのための薬剤師の対応研修会(研修会B)を開催した(集合研修)。

講演 薬局・薬剤師を巡る現状と健康サポート薬局

講師 新潟県薬剤師会 常務理事 大黒幸恵 氏

演習 薬局利用者の状態把握と販売時と販売後の対応(演習)

進行 新潟県薬剤師会 常務理事 市橋直子 氏

- (2) 医薬品販売制度への対応(継続)

① 日薬の「医薬品販売制度に関する自主点検」を実施し、会員薬局の法令遵守を啓発した。

② 薬局に整備すべきOTC医薬品リストを更新した。また、医薬品販売制度やセルフメディケーション税制について、ジャンプ、ホームページ及びメール等により会員への情報提供に努め、薬局等の対応について支援した。

③ 登録販売者の勤務する薬局の開設者に義務付けられている登録販売者の研修会を新潟県医薬品登録販売者協会と共催して4回開催し、講師2名を派遣した。

第2回研修会(Web研修又はオンライン配信)

講演 骨粗鬆症とロコモティブシンドローム

講師 新潟県薬剤師会 常務理事 市橋直子 氏

第3回研修会(Web研修又はオンライン配信)

講演 医薬品の適正使用について

講師 新潟県薬剤師会地域保健委員会 本部委員 小出和美 氏

10 薬局製剤の推進

- (1) 薬局製剤研修会の開催(継続)

これから薬局製剤に取り組みたい薬剤師を対象に、実習を含めた研修を行った。

講演 薬局製剤入門 一実技編一

講師 新潟県薬剤師会地域保健委員会 本部委員 廣橋義和 氏

講演 薬局製剤の試験検査について

講師 新潟県薬剤師会 常務理事 桂重之 氏

実習 グリセリンカリ液の製造、UHクリーム of 製造・確認試験

11 地域保健対策の推進

(1) 「県民のための薬のセミナー」の開催(継続)

- ① 地域の健康維持と保健衛生の向上に資するため、新潟県からの補助事業として「県民のための薬のセミナー」を83回開催した。
- ② 令和5年度薬のセミナーからニーズの把握及び事業評価を行うため、主催者へアンケートを実施することとし、体制を整備した。

(2) 薬事衛生指導員研修会の開催(継続)

- ① 県民のための薬のセミナーを実施する薬事衛生指導員をはじめとした薬剤師のスキルアップを図るための研修会を開催した(ハイブリッド型研修)。
講演 くすりを「見て、知って」もらうために 一くすり教育・啓発のための協議会資材アラカルト一
講師 一般社団法人くすりの適正使用協議会 理事長 俵木登美子 氏
- ② 新任薬事衛生指導員へ薬のセミナー実施の流れ等基本情報について資料を提供した。
- ③ 薬のセミナーの講演内容に当会が県民へ啓発したい事項について資料を提供した。

(3) 「薬と健康展」等、薬事啓発事業の実施(継続)

- ① 健康増進関連団体等が主催する行事等に地域薬剤師会の協力を得て参加し、県民へ啓発資材を配布した。
- ② ジェネリック医薬品の使用を促進するための動画を制作し、薬局等へ放映してもらうよう周知した。

(4) 自殺予防対策の推進(継続)

- ① 薬剤師を対象とした集合研修会を開催した(ハイブリッド型研修)。
講演 薬物依存症・過量服薬に対する薬剤師のゲートキーパーとしての関わり
講師 新潟市薬剤師会 理事・自殺予防対策委員長 佐藤真樹 氏
講演 薬物報道と偏見を考える 一自死も考えた私が回復するまで一
講師 元NHKアナウンサー/ASK認定依存症予防教育アドバイザー 塚本堅一 氏
- ② 自殺予防に対する薬剤師の意識向上を図ること等を目的として地域薬剤師会が開催した研修会に講師を派遣した。

12 ドーピング防止対策の推進

(1) ドーピング防止に関する啓発・広報活動の推進(継続)

適正なドーピング防止活動を行うために、ドーピング防止ガイドブック2022を会員薬局及び会員所属の医療機関に配布した。

(2) ドーピング防止のための研修会への参加(継続)

会員及びスポーツファーマシストのドーピング防止活動を支援するために、日薬や日本アンチ・ドーピング機構が実施する研修会に参加した。

(3) 他団体との協力(継続)

アンチ・ドーピング教育の受講義務化に伴い、スポーツファーマシストの活用を周知した。

13 電話相談事業の推進

(1) 電話相談の対応(継続)

新潟県から「薬事啓発事業」の補助を受け、フリーダイヤルを活用した県民からの薬に関する電話相談に応じた。

14 学術研修・生涯教育の充実

(1) 学術研修の支援(継続)

会員の研究発表を支援するため、新潟県病院薬剤師会及び新潟薬科大学との共催により新潟薬学会を開催した。

・第165回新潟薬学会(ハイブリッド型研修)

学生演題 9題

一般演題 6題

・第166回新潟薬学会(ハイブリッド型研修)

一般演題 7題

特別講演 薬剤師にも役立つ個人情報保護に関する法的知識の基礎

講師 中外合同法律事務所 弁護士・薬剤師 赤羽根秀宜 氏

(2) 薬剤師生涯学習関連事業の推進(継続)

① 日薬のプロフェッショナルスタンダードの改訂について会員に周知するとともに、生涯学習支援システムJPALSの活用推進のための広報・啓発に努めた。

② 生涯学習地域薬剤師会担当者会議を開催して各地域薬剤師会における研修実施状況及びWeb研修の運用面等における現状と課題について情報共有と意見交換を行った。

15 広報・情報活動の推進

(1) 会誌「ジャニファ」の定期刊行(継続)

① 会誌「ジャニファ」を年4回発行して、会員の学術的研鑽や会員の交流の場等になるよう寄稿を積極的に働きかけ、掲載内容の充実に努めた。また、県薬事業の広報強化、会員への情報提供を図った。

② 会員の利便性と刊行の効率性向上を目的に、会誌「ジャニファ」の電子データによる提供について検討した。

(2) 図書及び情報の整備(継続)

薬事情報センター機能の充実を図るため、図書及び情報等の整備に努めた。また、薬物乱用防止教室のための資料等の貸し出しを行った。

(3) 薬事情報に関する研修会への参加(継続)

日薬が主催する薬剤師会薬事情報センター実務担当者等研修会(Web研修)に出席した。

(4) 県薬ホームページの管理(継続)

新潟県薬剤師会のホームページを管理し、内容の充実を図った。

(5) メールニュースの配信(継続)

メールニュースの配信により、会員への即時性のある情報提供に努めた。

16 学術研究倫理審査

(1) 学術研究についての倫理審査(継続)

人を対象とする生命科学・医学系研究を倫理的及び科学的観点から、会員等より申請のあった学術研究について倫理審査を実施した。

(2) 研究倫理に関する研修会の開催(継続)

薬剤師を対象とした研究倫理に関する研修会を開催した。

講演 臨床研究のススメ 一日常の疑問を臨床・業務に反映させるための取り組みへの一歩一

講師 新潟県薬剤師会 理事 朝倉俊成 氏

17 部会活動の推進

(1) 学校薬剤師部会(新規)

環境衛生検査及びくすり健康教育等学校薬剤師に関する研修会を開催した(Web研修)。

(2) 病院・診療所部会(新規)

① 新潟県病院薬剤師会との共催により、中小・療養病院の薬剤師が考えるべき業務に関する研修会を開催した(ハイブリッド型研修)。

講演 日本病院薬剤師会中小病院委員会の最近の動向について 一関東ブロック中小病院連絡員の立場から一

講師 新潟南病院 渡部学 氏

講演 令和4年度診療報酬改定における褥瘡対策への対応 一上越地域医療センター病院の取り組みを中心に一

講師 上越地域医療センター病院 宮川哲也 氏

講演 中小病院において望まれる薬剤師業務の実現を目指した取り組み

講師 長久堂野村病院 薬剤科長 荒川隆之 氏

② 新潟県病院薬剤師会との共催により、薬剤業務セミナーを開催した。

講演 最近の薬務行政と今後の薬剤師に期待すること

講師 厚生労働省医薬・生活衛生局総務課薬事企画室医薬情報室長 太田美紀 氏

③ 県薬から配信されるメールニュースの中から、病院薬剤師に関連する通知等について、新潟県病院薬剤師会会員施設へ配信した。

(3) 卸勤務薬剤師部会(新規)

新潟県卸勤務薬剤師会が主催する研修会への参加について部会員へ広報した。

研修会 令和4年度卸勤務薬剤師会研修

講演 経口JAK阻害剤「サイバインコ錠」の製品概要とアトピー性皮膚炎の新たな治療選択

講演 長時間作動型小児成長ホルモン製剤「エヌジェンラ皮下注」の製品概要と治療上の注意点

講演 片頭痛抗CGRP抗体薬「アジヨビ皮下注」について

講演 PDE-4阻害剤「モイゼルト軟膏」の製品概要とアトピー性皮膚炎の新たな治療選択

講演 抗CGRP抗体製剤「エムガルティ皮下注」ならびにセロトニン1F受容体作動薬「レイボー錠」の製品情報

講演 医薬品医療機器等法における留意事項について

講演 最近の薬事監視指導行政について

講演 慢性心不全治療の新しい選択肢「ベリキューボ錠」について

講演 2型糖尿病を合併する慢性腎臓病の新たな治療選択肢「ケレンディア錠」について

講演 Quality&Technology 頻用処方解説 一漢方製剤がお手元に届くまで—

18 三師会等関係団体との連携

(1) 三師会との連携(継続)

新潟県における医療、保健、福祉の向上に寄与するため、新潟県三師会連絡協議会を通じて連携強化を図った。

(2) 新潟県民医療推進協議会との連携(継続)

① 新潟県民の健康の増進と福祉の向上を図るため、新潟県における医療・介護・保健及び福祉行政の拡充強化をめざして、三師会等関係団体で構成する新潟県民医療推進協議会に参画して連携を強化した。

② 健康寿命延伸にかかる多職種協働推進委員会へ参画するとともに、新潟県民医療推進協議会が主催する一般県民・多職種等と対象とした「健康寿命延伸フォーラム」に参加した。

(3) その他の関係団体との連携(継続)

① 公益財団法人新潟県健康づくり財団に参画した。

② 新潟県糖尿病対策推進会議に参画した。

- ③ 新潟県自殺予防対策推進県民会議に参画した。
- ④ 新潟県歯科保健協会に参画した。
- ⑤ 新潟県小児保健研究会に参画した。
- ⑥ 新潟母性衛生学会に参画した。
- ⑦ 新潟栄養・食生活学会に参画した。
- ⑧ NPO法人新潟難病支援ネットワークに参画した。
- ⑨ 公益財団法人新潟県臓器移植推進団体に参画した。
- ⑩ 新潟県交通安全対策連絡協議会に参画した。
- ⑪ 新潟県介護支援専門員協会に参画した。
- ⑫ 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会に参画した。
- ⑬ その他関係団体との連携を強化した。

19 北陸信越ブロック薬剤師会との連携

(1) 北陸信越ブロック連絡協議会との連携(継続)

北陸信越ブロック連絡協議会に出席して、北陸信越ブロックの各薬剤師会と連携を図り、情報交換に努めた。

(2) 日薬(北陸信越)ブロック会議への参加(継続)

日薬(北陸信越)ブロック会議に出席して、日薬事業の確認とブロック内の情報交換・意見交換を行った。

20 薬剤師学術大会への対応

(1) 日本薬剤師学術大会への参加(継続)

演題発表者として役員を派遣するとともに、役員の参加報告等を会誌「ジャーニファ」に掲載して広報に努めた。

(2) 北陸信越薬剤師大会及び北陸信越薬剤師学術大会への対応(拡充)

- ① 令和5年度の新潟大会開催に向けて実行委員会を立ち上げ、大会運営等について協議した。
- ② 北陸信越薬剤師大会及び北陸信越薬剤師学術大会へ役員を派遣するとともに会員の参加を支援した。